

土地改良事業計画書

(小規模土地改良事業)

都道府県名 京都府

地区名 岡田由里・西方寺

所在地 舞鶴市字北吸1044番地

事業主体 舞鶴市

		目	
第1章	目的	1
第2章	地域及び地積	1
第1節	地域	1
第2節	地積	1
第3章	現況	1
第1節	気象及び海象	1
1.	一般気象		
2.	特殊気象		
3.	海象		
第2節	土地状況	2
1.	地形、土壌及び侵食の程度		
2.	土地分類		
3.	土地利用の状況		
4.	土地所有の状況		
第3節	水利状況	5
1.	用水状況		
2.	排水状況		
3.	河川状況		
第4節	道路現況	11
1.	道路概況		
2.	主要道路一覧表		
第5節	地域農業の概要	12
1.	産業別就業人口		
2.	経営耕地広狭別農家数及び耕地 の分散状況並びに専業別農家数		
3.	動力農機具及び主要家畜頭数		
4.	主要作物作付状況		
5.	農業の動向		
第6節	地域環境の概況	14
第4章	一般計画	14
第1節	事業計画の要旨	14
1.	要旨		
2.	事業別面積		

		次	
第2節	管農計画及び土地利用計画	14
1.	管農計画の概要		
2.	土地利用区分		
3.	作付方式		
4.	生産計画		
5.	労働改善計画		
6.	級地別土地利用区分		
7.	土地配分計画		
第3節	用水計画	17
1.	計画基準年		
2.	計画かんがい方式		
3.	計画用水系統		
4.	計画用水量		
5.	水源計画		
第4節	排水計画	22
1.	計画基準雨量		
2.	計画排水方式		
3.	計画排水系統		
4.	計画排水量		
5.	排水対策		
6.	たん水検討		
第5節	道路計画	25
1.	道路及び索道		
2.	路線配置図		
第6節	農用地造成計画	25
1.	農用地造成計画		
2.	土壌改良		
第7節	洪水調節計画	26
1.	計画基準雨量		
2.	計画洪水量及び調節量		
3.	貯水池		
4.	洪水調節検討		
5.	管理計画		
第8節	干拓計画	27

第9節	農用地整備計画	27
1.	区画整理	
2.	暗渠排水	
3.	客土	
4.	農地保全	
第10節	老朽ため池改修計画	29
1.	洪水吐改修計画	
2.	堤体補強計画	
3.	取水施設改修計画	
第5章	主要工事計画	30
第1節	用水施設	
1.	貯水池	
2.	頭首工	
3.	揚水機	
4.	用水路	
5.	その他のかんがい施設	
第2節	排水施設	31
1.	排水水門	
2.	排水機	
3.	排水路	
4.	その他排水施設	
第3節	道路及び索道	31
1.	道路	
2.	索道	
第4節	農用地造成	32
1.	農用地造成工	
2.	土壌改良	
第5節	洪水調節施設	34
1.	貯水池	
2.	頭首工及び導水路	
第6節	干拓施設	34
1.	堤防	
2.	潮止め	
3.	付属施設	
4.	埋立	

第7節	農用地整備施設	35
1.	区画整理	
2.	暗渠排水	
3.	客土	
4.	除礫	
5.	農地保全	
第8節	老朽ため池改修施設	37
1.	貯水池	
2.	堤体補強施設	
第6章	附帯工事計画	37
第7章	工事の着手及び完了の予定時期	37
第8章	環境との調和への配慮	37
第9章	換地計画の概要	38
第1節	換地計画を作成する上での基本的な考え方	38
第2節	換地区の設定	38
1.	換地区の名称、所在、面積	
2.	換地区を設定する理由	
第3節	換地計画樹立の基本方針	38
1.	従前の土地の地積の基準	
2.	用途別予定地積	
3.	農用地集団化の方針	
4.	非農用地の換地方法	
第4節	土地の評価及び清算の方法	40
1.	評価の方法	
2.	清算の方法	
第5節	換地計画樹立の年度計画	40
第6節	換地処分の特則	40
第7節	換地事務処理体制	40
第10章	事業費の総額及び内訳	41
第11章	効用	42
第12章	関連する事業	42
第13章	現況・計画平面図	42

第1章 目的 (変更なし)

本事業により、農地の集団化、汎用化することにより、優良農地の確保を行い、生産性の向上を図り、農業経営の安定を図る。

第2章 地域及び地積

第1節 地域 (変更なし)

(第1表)

事業名	地域
小規模土地改良事業	舞鶴市字岡田由里、西方寺

第2節 地積

(令和8年5月現在)

(第2表)

事業名	現況地目 市町村名	田 (ha)	畑 (ha)	原野 (ha)	山林 (ha)	その他 (ha)	計 (ha)	備考
小規模土地改良事業	舞鶴市	3.98	0.01			0.81	4.8	計は四捨五入
	計	3.98	0.01			0.81	4.8	
	合計	3.98	0.01			0.81	4.8	

第3章 現況

第1節 気象及び海象

1. 一般気象

観測所名	舞鶴海洋気象台	かんがい期	非かんがい期	計 又は平均	備考
観測期間	1991年～2020年	5月～8月	9月～4月		
平均気温 (°C)		23.1°C	11.2°C	14.8°C	
降水量	平均(mm)	159.9mm	162.7mm	161.8mm	1ヶ月あたり平均
	基準年(mm)				
降水日数	平均(mm)	12.2日	16.0日	14.8日	1ヶ月あたり平均
	基準年(mm)				
根雪期間		平均日数：約2日/年	最大日数：40日間	平成22～23年シーズン	
無霜期間		月 日～	月 日	日間	
最多風向			最大風速 (風向)	32.6m/s (北西)	最多風向発生時期 月～月 最大風速発生年月日 2004.4.22

2. 特殊気象

観測所名 舞鶴海洋気象台	第1位			第2位			第3位			第4位			第5位		
	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率
観測期間 S. 年～S. 年															
最大日雨量 (mm)	277.0	2004/10/20		191.0	2013/9/15		162.0	1990/9/19		154.5	2002/8/31		154.0	1998/10/17	
最大時間雨量 (mm)	80.2	2021/7/29		65.5	1998/10/17		65.0	1995/9/3		58.0	2012/8/14		51.5	2023/9/12	
最大4時間雨量 (mm)	150.0	2021/7/29		118.0	2012/8/14		80.5	2004/10/20							
最大連続雨量 (mm)	305.0	2013/9/15～16		285.5	2004/10/19～20		220.0	2018/7/5～7		205.0	1990/9/18～20		195.0	2002/8/30～31	
最大連続干天日数 (日)	26	2000/8/1 ～ 8/26													

3. 海象

該当なし

(第3表-3)

観測所名	観測期間	年～年	既往最高潮位 (m)	さく望平均満潮位 (m)	上下弦平均満潮位 (m)	平均潮位 (m)	さく望平均干潮位 (m)	既往最低潮位 (m)	備考
実測値									

第2節 土地状況

1. 地形、土壌及び侵食程度

(第4表-1-1)

事業名	地目	田										畑・その他					受益地標高		備考
		1/1000	1/1000	1/100	1/20	1/11.5	計	3°	3°	8°～15°			15°	20°	計	最高	最低		
		以下	1/100	1/20	1/11.5	以上		以下	8°	8°	10°	10°	15°	15°				20°	
小規模 土地改良事業	面積 (ha)	(4.09) 3.98					(4.09) 3.98	(0.07) 0.01								(0.07) 0.01			
	比率 (%)	100.0	0.0	0.0			100.0	100.0								100.0			
計	面積 (ha)	(4.09) 3.98					(4.09) 3.98	(0.07) 0.01								(0.07) 0.01			
	比率 (%)	100.0	0.0	0.0			100.0	100.0								100.0			

(第4表-1-2)

土壌統 区名	項目	土壌統(区)区分一覧表								面積(ha)			備 考	
		土壌断面								事業名				
		色	腐蝕	礫層	酸化沈殿物	土性			泥炭層 黒泥炭層 及び グライ層	堆積様式	母材	計		計
						表土	下層土							
一層	二層					三層								
グライ土壌砂土型 黄褐色土壌強粘土型	灰褐色 灰		K0 K2	do df	f1 f2	Co Vf		G3 G0	沖積 //		2.1 1.9	E44 I81	2.1 1.9	
計											4.1		4.1	

(第4表-1-3)

事業名	区分	土壌の流亡率				年平均流亡速度				ガリ侵食の程		備考	
		0	0~25%	25~50%	50%以上	0	3mm未満	3~5mm	5mm以上	中程度 のもの	大なる もの		
		面積(ha)											

2. 土地分類 (変更なし)

該当なし

(第4表-2-1)

市町村名	級地別	農用地造成										計	備考
		二級地				三級地				四級地			
		※ (ha)	3° ~9° (ha)	9° ~12° (ha)	12° ~15° (ha)	※ (ha)	15° ~20° (ha)	20° ~25° (ha)	25° ~30° (ha)	※ (ha)	30° 以上 (ha)		
													※は傾斜以外の要因によるもの

該当なし

(第4表-2-2)

市町村名	級地別	干拓					備考
		一級地 (ha)	二級地 (ha)	三級地 (ha)	四級地 (ha)	計 (ha)	

3. 土地利用の状況

(令和8年5月現在)

(第4表-3)

事業名	土地利用別	耕地						山林		採草放牧地	原野	その他	計	備考
		水田	普通畑	牧草畑	果樹園	茶園	樹園その他	用材林	薪炭林					
	市町村名	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)		
小規模土地改良事業	舞鶴市	(4.09) 3.98	(0.07) 0.01								(0.91) 0.81	(5.1) 4.8		
	計	(4.09) 3.98	(0.07) 0.01								(0.91) 0.81	(5.1) 4.8		
	合計	(4.09) 3.98	(0.07) 0.01								(0.91) 0.81	(5.1) 4.8		

4. 土地所有の状況

(令和8年5月現在)

(第4表-4)

事業名	所有別		個人	市有地等				計	備考
	区分								
小規模土地改良事業	面積	(ha)	(4.16) 3.99	(0.91) 0.81				(5.1) 4.8	
	受益者数	(人)	(18) 18					(18) 18	
	筆数	(筆)	(96) 43	(61) 26				(157) 69	
	権利関係備考 (関係戸数)								
	面積	(ha)	(4.16) 3.99	(0.91) 0.8				(5.1) 4.8	
合計	受益者数	(人)	(18) 18					(18) 18	
	筆数	(筆)	(96) 43	(61) 26				(157) 69	
	権利関係備考 (関係戸数)								
	面積	(ha)	(4.16) 3.99	(0.91) 0.8				(5.1) 4.8	

第3節 水利状況

1. 用水状況

地区全体にわたり、用排兼用土水路であり、漏水が著しい。

(1) 用水系統

別紙参照

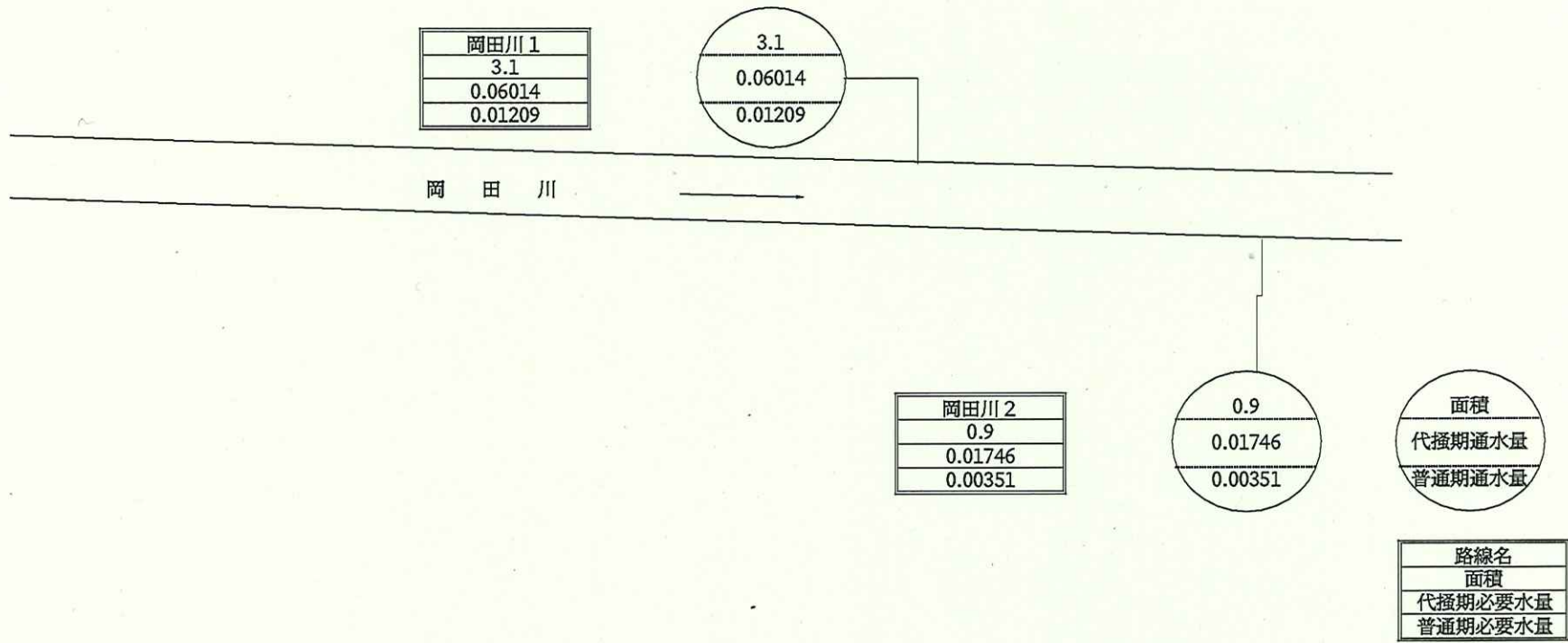
(2) 用水施設

(ア) 取水方法一覧表

(第5表-1)

事業名	項目 施設名	かんがい面積						計		水利権		慣行水利権		延べ取水量	備考
		500ha以上		500~100ha		100ha未満		個所	ha	個所	m3/s	個所	m3/s	m3/s	
		個所	ha	個所	ha	個所	ha								
小規模土地改良事業	貯水池														
	井堰					2	4					2	0.0776		
	自然取水口														
	揚水機														
	その他														
	計					2	4					2	0.0776		
合計						2	4					2	0.0776		

現況用水系統模式圖



(イ) 改修を要する施設一覧表

(変更なし)

(第5表-2)

事業名	施設名	項目	施設名又は箇所数	受益面積 (ha)	構造	規模	施設年又は更新年	改修を必要とする理由	備考
小規模土地改良事業	貯水池								
	井堰								
	自然取水口								
	揚水機								
	用水路			4	土水路	不整形	不明	区画整理	
	その他								
	計			4					

(3) 用水に関する被害状況 (変更なし)

該当なし

(ア) 用水不足による被害状況

(第5表-3-1)

事業名	系統名	項目	かんがい面積 (ha)	現況必要水量 (千m3)	不足水量				平均減産量		備考
					かんがい期最大不足水量		かんがい期総不足水量		作物名	減産量(t)	
					平均 (m3/s)	基準年 (m3/s)	平均 (m3/s)	基準年 (m3/s)			

(イ) その他の被害状況

(第5表-3-2)

事業名	時期別	かんがい 面積 (ha)	水温(°C)		水質	被害量 (t)	備考
			最高	最低			

(4) ため池が決壊した場合の想定被害状況
該当なし

(第5表-3-3)

事業名	想定被害面積 (ha)				想定被害額 (百万円)						備考	
	田	畑	その他	計	作物	農地	農業用 施設	公共 施設	家屋 その他	計		

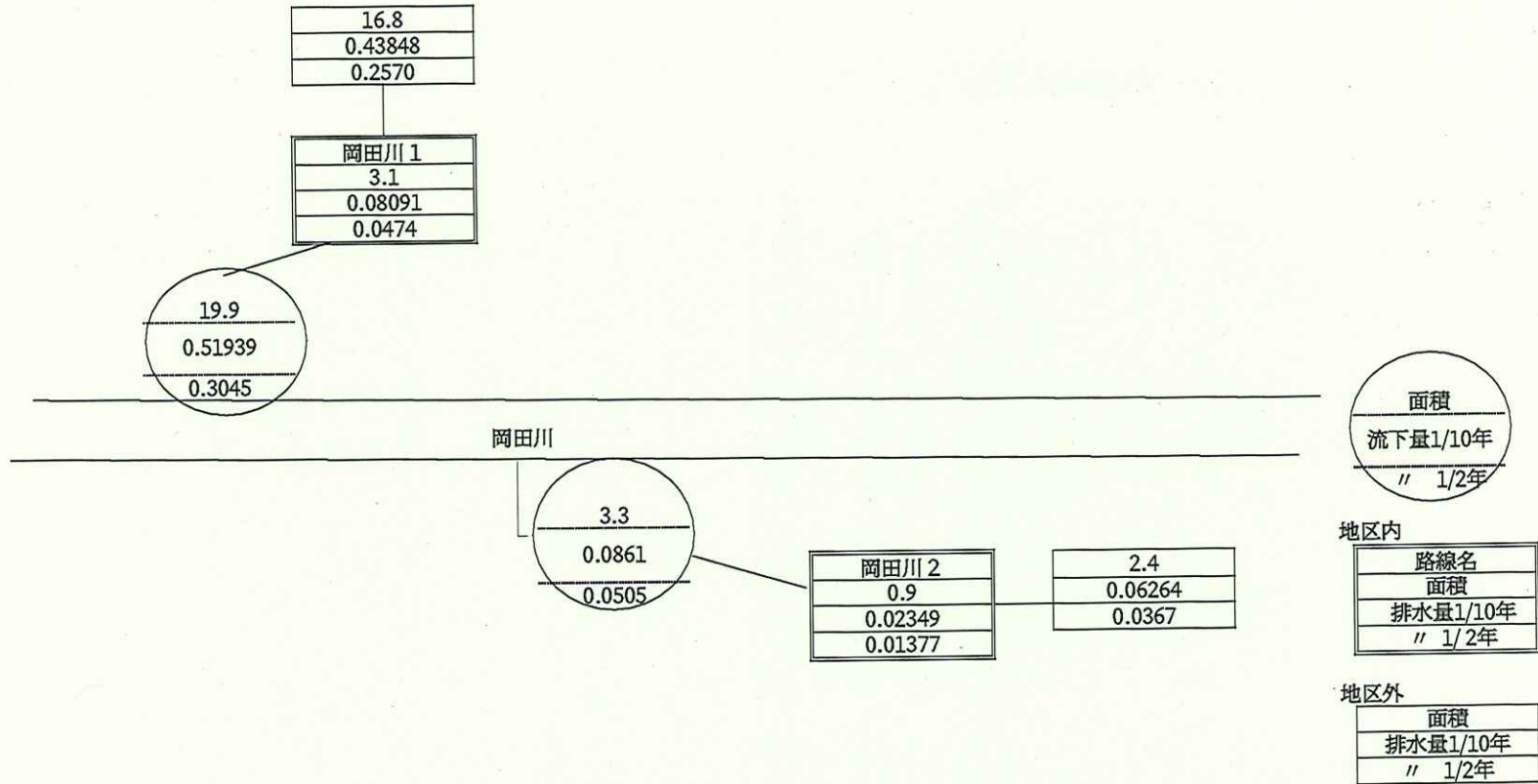
2. 排水状況

岡田川を排水本川として、自然排水を行っている。排水障害は生じていないが、それぞれの断面が狭小である。

(1) 排水系統

別紙参照

現況排水系統模式図



(2) 排水施設

(ア) 排水方法一覧表

(第5表-4)

事業名	施設名	項目	排水面積						計	排水慣行 (m ³ /s)	現況 排水能力 (m ³ /s)	
			500ha以上		500ha~100ha		100ha未満					
			個所	ha	個所	ha	個所	ha				個所
小規模土地改良事業	自然	排水路					2	23.2	2	23.2		0.6055
		水門										
	機械	排水機										
		水門及び排水機										
		排水路及び排水機										
	計						2	23.2	2	23.2		0.6055
合計						2	23.2	2	23.2		0.6055	

(イ) 改修を要する施設の一覧表

(第5表-5)

事業名	施設名	項目	施設名 又は 箇所数	受益面積 (ha)	構造	規模	新設年又は更新年	改修を必要とする理由	備考
小規模土地改良事業	自然	排水路	2	23.2	土水路	不整形	不明	区画整理による位置変更	
		水門							
	機械	排水機							
		水門及び排水機							
		排水路及び排水機							
	計			2	23.2				
合計			2	23.2					

(3) 排水に関する被害状況 (変更なし)
該当なし

(第5表-6)

事業名	項目 系統名	排水面積 (ha)	降水量 (mm)	湛水状況				乾湿状況 (ha)						平均減産量		備考
				湛水深 (cm)	湛水時間 (hr)	湛水面積 (ha)	湛水量 (千m3)	田		畑		その他		作物名	減産量 (t)	
								乾	湿	乾	湿	乾	湿			
			平均 基準年													
			平均 基準年													

3. 河川状況 (変更なし)

(1) 河川状況

(第5表-7)

河川名	項目 流路状況	勾配	断面	安全洪水量 (m3/s)	既往最大洪水量 (m3/s)	備考
岡田川	一部改修済					

(2) 洪水に関する被害状況
該当なし

(第5表-8)

区分	項目 農用地 (百万円)	農用施設 (百万円)	作物 (百万円)	公共施設 (百万円)	備考
過去の最大被害額					
平均被害額					

第4節 道路概況 (変更なし)

1. 道路概況

地区内の道路は未整備で狭小のため、通作・運搬に支障をきたしている。

2. 主要道路一覧表

(第6表)

路線名	管理 区分別	延長 (m)	巾 員(m)		構造	改修の要否	備考
			全巾	(有効)			
農道	舞鶴市	590	2.5	2	砂利舗装	要	

第5節 地域農業の概況

(第7表-1)

1. 産業別就業人口

項目	総数	農業	林業	漁業	鉱業	建設業	製造業	電気ガス熱供給水道業	情報通信業	運輸郵便業	飲食店	卸売小売業	金融保険業	不動産業	サービス業 医療福祉 教育学習支援	公務	その他	備考	
市町村名	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	
計	37,585	1,003		246	23	2,243	6,177	206	1,792	4,929	4,929	525	333	13,124	2,735	3,922			
比率(%)	100.0	2.7	#VALUE!	0.7	0.1	6.0	16.4	0.5	4.8	13.1		1.4	0.9	34.9	7.3				

2. 経営耕地広狭別農家数及び耕地の分散状況並びに専業別農家数

(第7表-2)

区分 市町村名	農家総戸数	経営耕地広狭別農家数(戸)							1戸当たり平均農用地面積(ha)					耕地の分散状況		専業別農家数(戸)		備考	
		例外規定の適用を受けるもの	0.3	0.5	1.0	2.0	自給的農家	田	畑	樹園地	小計	草地	計	1戸当たり団地数	団地当たり面積(ha)	専業	兼業		
			~	~	~	ha											第一種		第二種
舞鶴市	1,702	12	85	233	165	66	1,141	1.2	0.1	0.1	1.4	0.0	1.4			43	61	457	

3. 動力農機具および主要家畜頭数

(第7表-3)

項目 市町村名	動力農機具							主要家畜								備考	
	耕うん機 トラクター		田植機		コンバイン		乳用牛		役用牛		豚		にわとり 採卵		にわとり ブロイラー		
	数量 (台)	戸数 (戸)	数量 (台)	戸数 (戸)	数量 (台)	戸数 (戸)	頭数 (頭)	戸数 (戸)	頭数 (頭)	戸数 (戸)	頭数 (頭)	戸数 (戸)	羽 (羽)	戸数 (戸)	羽 (羽)		戸数 (戸)
舞鶴市	1,200	450	550	350	510	330	219	5	X	2	X	X	293,000	6	0	0	戸数⇒経営体
100戸当たり数量 (台、頭)																	この指標の一律での統計公表なし
利用戸数の割合 (%)	100		100		100												

農林水産省による調査設計の変更に伴い、現在の統計は「農家数・戸数」ではなく「農業経営体数(実際に農業を事業として行っている個人・法人等の数)」をベースにカウントされています。また、近年はプライバシー保護(秘匿処理:データが1~2件しかなく個人が特定できる場合に「X」と表記される措置)が厳格化されているため、一部の数値は公表値に準じた形(または農産物産出額からの推計)でまとめています。

4. 主要作物作付け状況

(第7表-4)

市町村名		舞鶴市				計	平均		
総耕地面積(ha)		1,220		ha		ha			
総本地面積(ha)		1,220		ha		ha			
作物名	区分	作付面積(ha)	単位面積当たり収量(kg/10a)	作付面積(ha)	単位面積当たり収量(kg/10a)	作付面積(ha)	平均面積当たり収量(kg/10a)	作付率	備考
田	表作 水稻	557	510			557	510		コシヒカリ、京の輝きなど
	裏作 麦	1				1			大豆、そばが極わずか
	小計	558				558			
畑	春夏作 野菜類	80	1,950			80	1,950		万葉寺とうがらし、トマト
	秋冬作 野菜類	20	1,900			20	1,900		佐波賀大根、白菜、キャベツ
	小計	100	3,850			100	3,850		
樹園地		10	X			10	X		栗、みかんなど減少傾向
	小計	10				10			
計		668				668			
市町村別延べ作付率(%)		54.8							

5 農業の動向

(第7表-5)

項目	農 家			土 地			主要作物		大家畜			動力農機具			地域指定等	備考				
	種別	B	A	種別	B	A	種別	B	A	種別	B	A	種別	B			A			
変化の状況	C100とする指数	総農家数	1,399	931	田	1,290	810	水稻	1,290	810	乳用牛	154	162	トラクター	3,287	-	農振	A : 2020年		
		専業農家数	73.6	48.9		72.1	45.3		72.1	45.3		53.3	56.1	耕運機	92.9	-			特定農山村地域	B : 2010年
		第一種兼業農家数	182	154	畑	360	318	野菜類	360	318	役用牛	-	-	田植機	1,226	-	市街化調整	C : 2000年		
		第二種兼業農家数	84.3	71.3		83.7	74.0		83.7	74.0		-	-		693	32.0				
		農業従事者数	106	47	樹園地	43	22	豆類	26	12	豚	-	-	ハンター	47.0	2.2				
変理由		農業従事者数	40.0	17.7		50.6	25.9	花キ	1	2	鶏採卵	19,900	16,200	コンバイン	867	740				
			78.2	51.4				飼料	338	-		60.0	48.8		84.0	71.7				
変理由		<ul style="list-style-type: none"> ・後継者不足による小規模農家の離農による農家数の減少。 ・山間の狭小農地などが荒れ地になっていることに加え、台風災害での耕作地の放棄等もみられる。 					<ul style="list-style-type: none"> ・転作面積拡大により水稻以外への作付け移行がみられる。転作奨励、中山間地域支援等による影響もうかがえる一方で米価の下落による水稻作付けへの意識減退、流通形態の変化がうかがえる。 			<ul style="list-style-type: none"> ・家畜の種別により、飼育環境や輸入肉等の影響を受け、経営規模に変化が見られる。 			<ul style="list-style-type: none"> ・農業をする人が減った分、残った農家に効率的な大型機械が集約される「省力化・機械化」が進んでいる。 				※耕運機、田植機など調査2010で終了			

第6節 地域環境の概況

当地区での農業は、水稻を中心とした農業が展開されている。その水辺、水中、周辺地や隣接する河川は種々の動植物の生息地として、多様な生態系が構成されており、貴重な自然環境が形成されている。

第4章 一般計画

第1節 事業計画の要旨

1. 要旨 (変更なし)

ほ場の区画整理により用排分離、水管理の合理化、大型機械の導入と集団化による省力化からの余剰労力を複合経営に振り向け、農業経営の安定を図る。

2. 事業別面積

(第8表)

事業名 土地利用区分 事業目的	小規模土地改良事業										計 (ha)	備 考
	水 田 (ha)	輪 換 耕 地 (ha)	普 通 畑 (ha)	牧 草 畑 (ha)	果 樹 園 (ha)	道 水 路 (ha)	非 農 用 地 (ha)	沈 砂 地 (ha)	そ の 他 (ha)	小 計 (ha)		
区画整理		(4.09) 3.98	(0.07) 0.01				(0.00) 0.01		(0.91) 0.8	(5.1) 4.8	(5.1) 4.8	
計		(4.09) 3.98	(0.07) 0.01				(0.00) 0.01		(0.91) 0.8	(5.1) 4.8	(5.1) 4.8	

第2節 営農計画及び土地利用計画

1. 営農計画の概要

農業の構造改善と近代化を促進するため区画整理と道路及び用排水路の整備を行い、大型機械の導入を中心として水稻栽培を省力化し、輪換耕地に合理的な労力の配分を行い、高度な土地利用形態を確立するとともに流通の合理化を図る。

2. 土地利用区分

(第9表-1)

事業名	土地利用区分	水田	輪換 耕地	普通畑	牧草畑	果樹園	茶園	小計	原野	山林	その他	計	備考
	区分	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	
小規模土地改良事業	現況	(4.09) 3.98		(0.07) 0.01				(4.16) 3.99			(0.91) 0.81	(5.1) 4.8	
	計画		(4.09) 3.98	(0.07) 0.01				(4.16) 3.99			(0.91) 0.81	(5.1) 4.8	
計	現況	(4.09) 3.98		(0.07) 0.01				(4.16) 3.99			(0.91) 0.81	(5.1) 4.8	
	計画		(4.09) 4.0	(0.07) 0.01				(4.16) 4.0			(0.91) 0.81	(5.1) 4.8	

3. 作付方式

(第9表-2)

事業名	項目	経営 類型	土地 利用 区分	1年目												2年目												3年目												備考
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
小規模土地改良事業	現況		田	(4.08) 水稻4.08ha												(4.08) 水稻4.08ha												(4.08) 水稻4.08ha												
				(2.08) 水稻2.08ha												(2.08) 水稻2.0ha												(2.08) 水稻2.0ha												
	計画	輪換田	(1.0) トマト0.9ha												(1.0) トマト0.9ha												(1.0) トマト0.9ha													
			(1.0) キャベツ/白菜1.0ha												(1.0) キャベツ/白菜1.0ha												(1.0) キャベツ/白菜1.0ha													
		畑	(0.01) 万願寺とうがらし 0.01ha												(0.01) 万願寺とうがらし 0.01ha												(0.01) 万願寺とうがらし 0.01ha													

4. 生産計画

(第9表-3)

事業名	項目 土地利用区分	作物名	作付面積 (ha)			作付率 (%)		単位面積当たり収量 (kg/10a)			生産量 (t)			同左生産量増減の内訳 (t)		備考		
			現況	計画	増減	現況	計画	現況	計画	増減	現況	計画	増減	面積増減	単位面積当たり収量増加			
小規模 土地改良事業	水田	表作	水稻	4.08	2.08	-2.0	100	100	460	490	30	18.8	10.2	-8.6	-9.8	1.2		
			トマト		0.9	0.9		100		0	5,500	5,500	0.0	49.5	49.5	49.5	0.0	
		裏作	キャベツ		0.5	0.5		100			3,500	3,500	0.0	17.5	17.5	17.5	0.0	
			白菜		0.5	0.5		100			4,500	4,500	0.0	22.5	22.5	22.5	0.0	
	普通畑	万願寺とうがらし	0.07	0.01	-0.1	80	100	2000	2500	500	0.01	0.3	0.2	-1.5	1.7			
	合計			4.15	3.99									81.2	78.2	3.0		

5. 労働改善計画

(第9表-4)

事業名	項目 土地利用区分	作物名	作付面積 (ha)	単位面積当たり労働投下量(hr/10a)			備考		
				区分	現況	計画		増減	
小規模土地 改良事業		水稻	2.08	人力	基幹		32.0	32.0	
					補助	360	120.0	-240.0	
					機械力	100.0	100.0	0.0	
		トマト	0.9	人力	基幹		47.8	47.8	
					補助	0	1800.0	1800.0	
					機械力	80	47.8	-32.2	
		キャベツ	0.5	人力	基幹		60.0	60.0	
					補助	0	750.0	750.0	
					機械力	100	59.7	-40.3	
		白菜	0.5	人力	基幹		60.0	60.0	
					補助	0	750.0	750.0	
					機械力	100	59.7	-40.3	
万願寺とうがらし	0.01	人力	基幹		60.0	60.0			
			補助	150	30.0	-120.0			
合計					890	4007.0	3117.0		

6. 級地別土地利用区分 (変更なし)

(第9表-5)

該当なし

土地利用区分	区分 級地名	農用地造成(ha)					干 拓(ha)					備 考
		一級地	二級地	三級地	四級地	計	一級地	二級地	三級地	四級地	計	
農 地	田											
	輪換耕地											
	畑											
	(普通畑)											
	(牧草地)											
	樹園地											
	(果樹園)											
	(桑園)											
	その他											
	計											

7. 土地配分計画 (変更なし)

(第9表-6)

該当なし

区 分	項 目	配分戸数 (戸)	地 目 別 配 分 面 積					計	備 考
			田	輪換耕地	畑	樹園地			
					普通畑	牧草地			
	増反								
	入植								

第3節 用水計画

1. 計画基準年 (変更なし)

昭和30年

かんがい期有効雨量及び連続

(昭和24年～30年の7年間の確率計算)

2. 計画かんがい方式 (変更なし)

水田—開水路による湛水かんがい

畑 —開水路によるうね間かんがい

かんがい期間 5月1日～8月23日

代掻期間 5月1日～5月5日

3. 計画用水系統

別紙参照

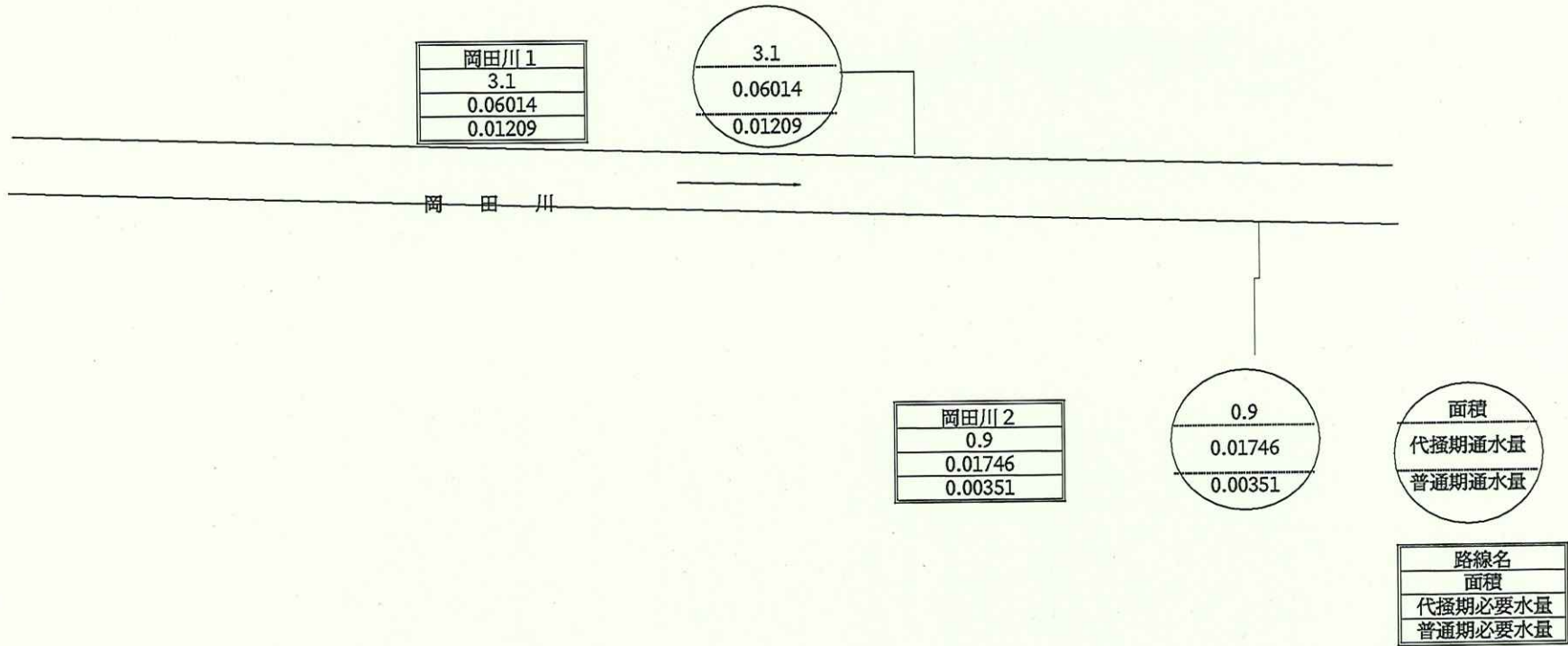
4. 計画用水量

(1) かんがい用水

(第10表-1-1)

系統名	項目	種別	面積(ha)		水田かんがい			水田畑利用			畑地かんがい			その他		消費水量 (m ³ /s)	損失率 (m ³ /s)	粗用水量		備考	
			事業名		普通期	代かき期	面積 (ha)	一日当たり 計画平均かん 水深 (mm/ 日)	平均 間断 日数 (日)	面積 (ha)	一日当たり 計画平均かん 水深 (mm/ 日)	平均 間断 日数 (日)	面積 (ha)	計画平均単 位用水量 (mm/ 日)	面積 (ha)			平均 (m ³ /s)	最大 (m ³ /s)		
				計	計画平均単 位用水量 (mm/日)	計画代かき 単位用水量 (mm/日)															
小規模 土地改良 事業	岡田川1	農業 用水	3.1	3.1	18.1	150	2	4	5	1.1						0.0511	15	0.0121	0.0601		
	岡田川2		0.9	0.9	18.1	150	0.6	4	5	0.3						0.0148	15	0.0035	0.0175		
	計		4.0	4.0			2.6				1.4				0.0	0.0660			0.0156	0.0776	

計画用水系統模式図



(2) 営農飲雑用水 (変更なし)

該当なし

(第10表-1-2)

区分	利用目的	対象面積(ha)			日当給水量		補給回数 (回)	関係戸数 (戸)	備考
		事業名			単位給水量 (m ³ /s)	最大給水量 (m ³ /s)			

5. 水源計画

(1) 水利用計画

(第10表-2)

区分	項目	消費水量 a (千m ³)	有効雨量 b (千m ³)	純用水量 c=a-b (千m ³)	粗用水量 d=c/(1-α) (千m ³)	現況利用可能水量		不足水量		水源依存量		備考 損失率: α	
						水源名	取水地点 利用可能量	ほ場利用 可能量	純不足量 g=c-f (千m ³)	全不足量 h=d-e	水源名		水量
							e (千m ³)	f (千m ³)					
小規模	岡田川	100	10	90	105.88	井堰	135	135	-	-		105.9	
	計	100	10	90	105.9		135	135				105.9	

(2) 用水対策

(ア) 貯水池

(第10表-3)

貯水池名	流域面積		かんがい面積(ha)			純貯水量 (千m ³)	利用貯水量 (千m ³)	利用回数 (回)	最大取水量 (m ³ /s)	備考
	(km ²)									
	直接	間接			計					
該当無し										

(イ) 井堰及び自然取入口

(第10表-4)

項目 取水施設名	河川名	流域面積 (km ²)	かんがい面積(ha)		取水量 (m ³ /s)		揚水量 (m ³ /s)	備考
			事業名		最大	平均		
岡田川		3.9	3.1	3.1	0.0636	0.0112		
			0.9	0.9	0.0185	0.0032		
	計		4.0	4.0	0.0820	0.0144		

(ウ) 揚水機 (変更なし)

(第10表-5)

項目 名称	水源名	かんがい面積		所要水量 (m ³ /s)		揚水機				備考
		事業名		最大	平均	実揚程 (m)	揚水量 (m ³ /s)	台数 (台)	全揚水量 (m ³ /s)	
該当なし			計							

(エ) 用水路

(第10表-6)

項目 名称	かんがい面積		最大通水量 (m ³ /s)	延長 (km)	構造	備考
	事業名					
支線用水路	4.0	4.0	0.082	0.7	U字フルーム	
計	4.0	4.0	0.082	0.7		

(オ) その他の水源施設

(3) 水温水質

特に問題なし

第4節 排水計画

1. 計画基準雨量 日雨量 204mm/日
2. 計画排水方式 自然排水
3. 計画排水系統 別紙参照
4. 計画排水量

(第11表-1)

排水系統名	受益面積(ha)		流域面積(km ²)		基準雨量(mm)	降雨による直接単位流出量(m ³ /s/km ²)		基底流出量(m ³ /s/km ²)		全排水量(m ³ /s)			単位排水量(m ³ /s/km ²)		備考
	事業名		山地	平地		山地	平地	山地	平地	山地	平地		山地	平地	
	小規模土地改良事業	計									自然排水	機械排水			
岡田川	4.0	4.0	0.19		23.5					0.5011	0.1253		2.637473684	3.132	
計		4.0	0.19							0.5011	0.1253		2.637473684	3.132	

5. 排水対策

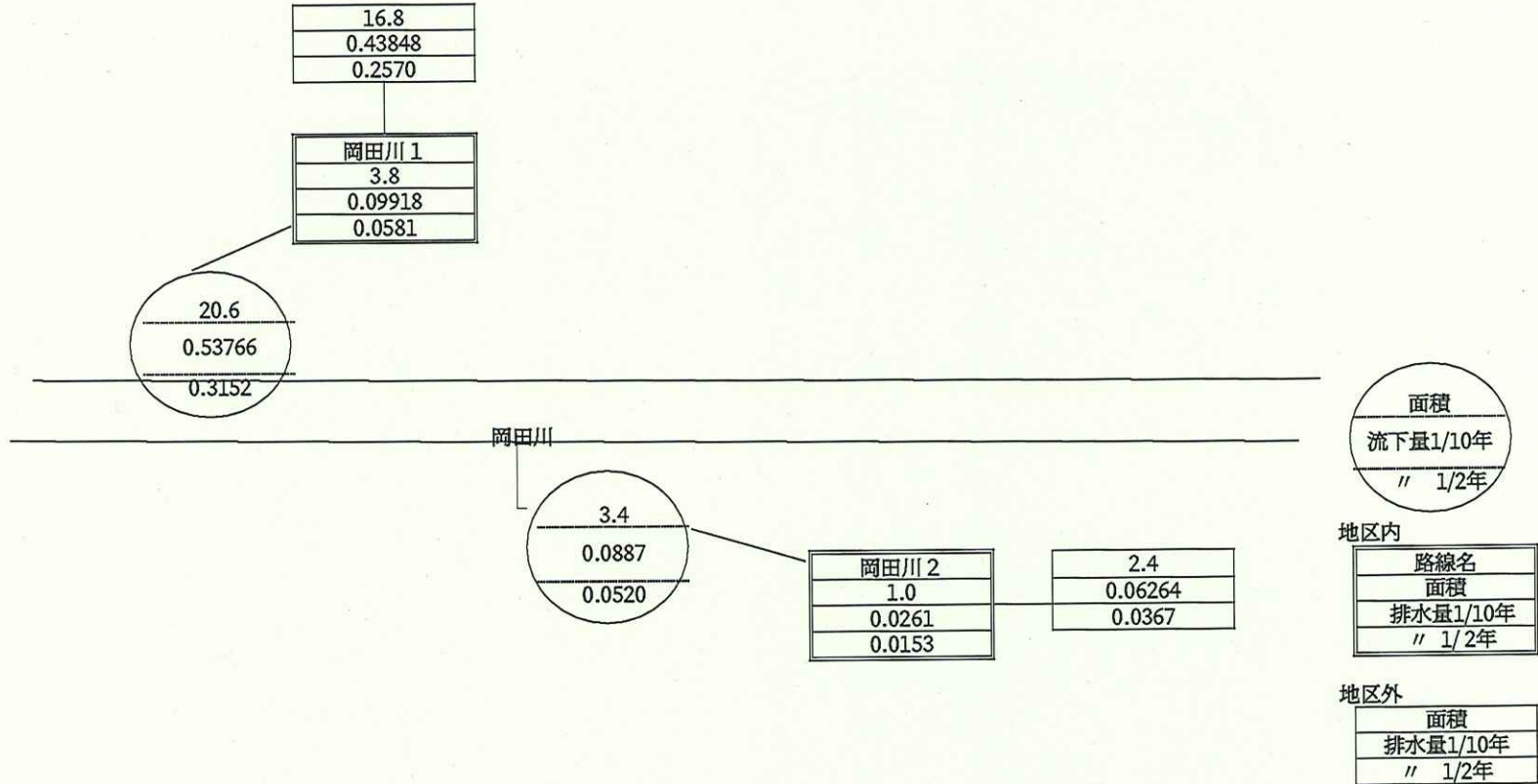
(1) 排水水門 (変更なし)

該当なし

(第11表-2)

項目 名称	流域面積(m ²)	受益面積(ha)		計画 排水量	計画 地区内湛水深(m)	排水本川		備考
		事業名	計			計画 計画洪水量(m ³ /s)	計画 計画洪水位(m)	

計画排水系統模式図



(2) 排水機 (変更なし)

該当なし

(第11表-3)

名称	項目 流域面積	受益面積(ha)			計画排水量 (m ³ /s)		排水機				備考
		事業名		計	排水量 (m ³ /s)	地区内湛水深 (m)	実揚程 (m)	排水量 (m ³ /s)	台数 (台)	全排水量 (m ³ /s)	

(3) 排水路

(第11表-4)

項目 名称	流域面積 (ha)	受益面積(ha)		計画 排水量 (m ³ /s)	延長 (km)	構造	排水本川			備考
		事業名					名称	計画洪水量 (m ³ /s)	計画洪水位 (m)	
			計							
支線排水路	24.0	4.0	4.0	0.6264	0.7	ポンチリウム	岡田川			
計	24.0	4.0	4.0							

(4) その他 (変更なし)

該当なし

6. たん水検討 (変更なし)

該当なし

第5節 道路計画

1. 道路及び索道

(1) 道路

(第12表-1)

路線名	項目	幅(有効) × 延長 (m) (km)	構造	既設道路との関係	備考
		2.0 × 0.7 (2.5)	砂利舗装	市道に取付	
		×			
		×			
		×			
		×			

(2) 索道 (変更なし)

(第12表-2)

該当なし

路線名	項目	能力(t/r)	延長	接続道路名	備考

2. 路線配置図

第6節 農用地造成計画 (変更なし)

該当なし

1. 農用地造成計画

(1) 農用地造成計画

(第13表-1)

土地利用区分	項目	主要作物	自然傾斜	耕地の形態	標準区画の形状	備考

(2) 末端道水路配置図

2. 土壤改良

(第13表-2)

項目 区分	面積 (ha)	土壌 統(区)名	PH		置換酸度 (Y1)	リン酸 吸収係数	ha当たり所要量			備考
			H2O	KC			石灰 (t)	リン酸質 資材(t)	有機質 資材(t)	

第7節 洪水調節計画 (変更なし)

該当なし

1. 計画基準雨量

日雨量 mm/日

2. 計画洪水量及び調節量

(第14表-1)

地点	流域面積 (km ²)	洪水到達時間 (hr)	計画洪水量 (m ³ /s)	安全洪水量 (m ³ /s)	必要調節量 (m ³ /s)	ピーク時 調節量 (m ³ /s)	ピーク時 調節後流量 (m ³ /s)	調節後 最大流量 (m ³ /s)	調節前後の 最大流量の差 (m ³ /s)	最大調節量 (m ³ /s)	備考

3. 貯水池

(第14表-2)

項目 貯水池名	流域面積		計画洪水量 (m ³ /s)	貯水量(千m ³)			計画調節 流量 (m ³ /s)	可能調節 流量 (m ³ /s)	備考
	直接 (km ²)	間接 (km ²)		有効 (千m ³)	洪水調節容量 (千m ³)	他目的 (千m ³)			

4. 洪水調節検討

- (1) 河川改修計画との関係
- (2) 洪水調節が下流に及ぼす影響
- (3) 計画基準雨量以外の降雨についての検討

5. 管理計画

- (1) 管理機構
- (2) ダム管理操作上の各種基準
- (3) 洪水調節要領

第8節 干拓計画 (変更なし)
該当なし

(第15表)

名称	項目	延長 (m)	計画高潮(水位) (L.P.m)	風向及び対岸距離 (km)	風速 (m/s)	気圧 (hp)	備考

第9節 農用地整備計画

1. 区画整理

(1) 区画の形状

(第16表-1)

長辺×短辺 (m)	区画面積 (ha)	全体面積 (ha)	割合 (%)	田差 (m)	備考
20 × 60	0.12	2.0	50.0		$\frac{2.0}{4.0 - 1.6} = 83.3\%$ 適用除外地 1.6
20 × 50	0.1	0.4	10.0		
×	その他	1.6	40.0		
×					
計		4.0	100.0		

(2) 表土扱い

(第16表-2)

面積 (ha)	表土扱い要否の理由	扱い深 (cm)	土量 (m3)	備考
4.0	地力保全のため	15	6,000	

2. 暗渠排水

(1) 暗渠排水 (変更なし)

(第16表-3-1)

区分	項目	面積(ha)		土壤統(区)名	基準雨量 (mm/日)	単位排水量 ($\%$ /s/ha)	計画後の 地下水位 (m)	集水渠出口 以下の排水方法	備考
		事業名	計						
	該当なし								

(2) 心土破碎

該当なし

(第16表-3-2)

区分	項目	面積(ha)		土壤統(区)名	土壤硬度	備考
		事業名	計			
	該当なし					

3. 客土 (変更なし)

該当なし

(第16表-4)

区分	項目	面積(ha)		土壤統(区)名	減水深(mm/日)		作土の厚さ(cm)		10a当たり 客土量 (m ³)	土壤の性質		備考
		事業名	計		現況 平均	計画 平均	現況 平均	計画 平均		受益地 (%)	土 材料 (%)	
	該当なし											

4. 農地保全 (変更なし)

該当なし

(1) 防災林

(第16表-5-1)

区分	項目	最大風速 (m/s)	幅 (m)	間隔 (m)	備考

(2) 排水工

(第16表-5-2)

項目 区分		土 性	流出率	排水量		備 考
				単位排出量 (m ³ /s/ha)	全排水量 (m ³ /s)	

(3) 侵食(崩壊)防止工

(第16表-5-3)

項目 施設名	位 置	支配面積 (ha)	機 能	備 考

第10節 老朽ため池改修計画 (変更なし)

該当なし

1. 洪水吐改修計画

(1) 計画基準雨量

(2) 計画洪水量

2. 堤体補強計画

3. 取水施設改修計画

第5章 主要工事計画

第1節 用水施設

1. 貯水池 (変更なし)

(第17表-1)

該当なし										備考	
名称	型式	流域面積 (km ²)		堤高 (m)	位置		堤体積 ()	基礎地盤地質	貯水量 (千m ³)		
		直接	間接		堤長 (m)	位置			総貯水量		有効貯水量

2. 頭首工 (変更なし)

(第17表-2)

該当なし								備考
名称	型式	堤高 (m)	堤長 (m)		取水位 (m)	取水量 (m ³)	付帯施設	
			固定部	可動部				

3. 揚水機 (変更なし)

(第17表-3)

該当なし											
項目 名称	位置	揚水量 (m ³ /s)	揚程 (m)		揚水機			原動機			備考
			全揚程	実揚程	型式	口径 (mm)	台数 (台)	形式	動力 (kw)	台数 (台)	
計											

4. 用水路

(第17表-4)

項目 水路名	かんがい面積 (ha)		通水量 (m ³ /s)	延長 (km)			構造	勾配	主要構造物	備考
	事業名	計		開きよ	トンネル その他	計				
支線用水路	4.0	4.0	0.082			0.7	U字チューブ	1/250~300	取水工	
計	4.0	4.0	0.082							

5. その他かんがい施設（変更なし）
該当なし

第2節 排水施設

1. 排水水門（変更なし）

該当なし

(第18表-1)

項目	位置	型式	構造	内水位 (m)	外水位 (m)	排水量 (m ³ /s)	備考
名称							

2. 排水機（変更なし）

該当なし

(第18表-2)

項目	位置	揚水量 (m ³ /s)	揚程 (m)		排水機			原動機			備考
			全揚程	実揚程	型式	口径 (mm)	台数 (台)	形式	動力 (kw)	台数 (台)	
名称											

3. 排水路

(第18表-3)

項目	受益面積 (ha)		排水量 (m ³ /s)	延長 (km)			構造	勾配	主要構造物 (箇所)	備考
	事業名	計		開きよ	トンネルその他	計				
水路名										
支線排水路	4.0	4.0	0.6264	0.7	0.0	0.7	U字フレーム	1/250	暗渠工	
計	4.0	4.0	0.6264	0.7	0.0	0.7				

4. その他排水施設（変更なし）

特記事項なし

第3節 道路及び策道（変更なし）

1. 道路

(1) 道路の総括表

(第19表-1)

項目	路線名	幅 (有効) × 延長 (km)	構造	付帯構造物			最急勾配 (%)	同左の延長 (m)	最小曲線半径 (m)	備考
				名称	構造	数量 (箇所)				
区分										
支線道路		2.5 × 0.5 (2.0)	砂利舗装				10%以内	500		
		×								
		×								

(2) 道路主要構造物 該当なし

(第19表-2)

路線名	項目	名称	規模構造	延長 (m)	箇所数 (箇所)	備考

2. 策道

該当なし

(第19表-3)

項目 名称	延長 (m)	高低差 (m)	能力 (t/hr)	原動機		備考
				形式	動力 (HP)	

第4節 農用地造成(変更なし)

該当なし

1. 農用地造成工

(1) 抜根

(第20表-1)

項目 区分	樹種	樹径 (cm)	ha当たり本数 (本/ha)	面積 (ha)	工法	備考
計						

(2) 除礫

(第20表-2)

項目 区分	対象土層の厚さ (cm)	ha当たり標準除礫量 (m ³ /ha)	面積 (ha)	工法	備考
計					

(3) 開墾作業

(第20表-3)

区分	項目		面積 (ha)	工法	備考
	地目	造成工法			
計					

(4) 地目変換

(第20表-4)

区分	項目	面積 (ha)	工法	備考
	計			

(5) 末端用水路等

(第20表-5)

区分	項目	数量	規模	構造	備考

(6) 末端排水路等

(第20表-6)

区分	項目	数量	規模	構造	備考

2. 土壤改良

(第20表-7)

区分	項目	面積 (ha)	石灰量 (t)	リン酸質資材量 (t)	有機質資材量 (t)	備考
	計					

第5節 洪水調節施設（変更なし）

1. 貯水池
2. 頭首工及び導水路

(1) 頭首工

(第21表-2)

名称 形式	集水面積 (km ²)	堤高 (m)	位置			計画洪水位 (m)	付帯施設	備考
			堤長 (m)					
			固定部	可動部	計			

(2) 導水路

水路名	項目	通水量 (m ³ /s)	延長 (m)			構造	勾配	備考
			トンネル	その他	計			

第6節 干拓施設（変更なし）

該当なし

1. 堤防

(第22表-1)

項目 名称	形式	延長 (m)	構造				原地盤標高 (m)		備考
			堤頂標高 (m)	盛土幅 (m)	盛土標高 及び舗装	上流斜面	下流斜面	平均	

2. 潮止め

(第22表-2)

項目 名称	工法	幅員 (m)	敷高標高 (m)	潮止堤標高 (m)	最大流速 (m/s)	床固め構造	備考

3. 付属施設
なし

4. 埋立

(第22表-3)

名称	項目	面積 (ha)	埋立標高 (m)	埋立土量 (m ³)	施工方法	備考

第7節 農用地整備施設

1. 区画整理

(1) 区画整理

(第23表-1)

工区名	面積 (ha)	整地工		表土扱い		備考
		標準区画	土量 (m ³)	面積 (ha)	土量 (m ³)	
岡田由里・西方寺	4.0	20×60m		4.0	6,000	

(2) 末端用水路等

(第23表-2)

区分	項目	数量	規模	構造	備考

(3) 末端排水路等

(第23表-3)

区分	項目	数量	規模	構造	備考

2. 暗渠排水

(1) 暗渠排水 (変更なし)

(第23表-4-1)

項目	面積 (ha)			集水渠			吸水渠				集水渠出口以下の排水施設			備考		
	事業名			勾配	管種	管径 (mm)	延長 (m/ha)	勾配	管種	深さ (m)	間隔 (m)	延長 (m/ha)	名称		構造	数量
区分	計															
該当なし																
計																

(2) 心土破碎

(第23表-4-2)

区分	項目	対象土層の厚さ (cm)	ha当たり標準除磔量 (m ³ /ha)	面積 (ha)	工法	備考
	計					

3. 客土(変更なし)

(第23表-5)

該当なし

区分	面積 (ha)		客入土量 (m ³)	土取場土量 (m ³)	運搬距離 (km)	運搬方法	備考
	事業名	計					
	計						

4. 除磔

(第23表-6)

区分	項目	対象土層の厚さ (cm)	ha当たり標準除磔量 (m ³ /ha)	面積 (ha)	工法	備考
	計					

5. 農地保全(変更なし)

(1) 防風林

(第23表-7)

区分	項目	幅 (m)	延長 (m)	面積 (ha)	樹種	植栽本数 (本)	備考

(2) 排水路

(第23表-8)

区分	項目	延長 (m)	流量 (m ³ /s)	構造	備考

(3) 侵食防止工

(第23表-9)

区分	項目	構造	数量	備考

第8節 老朽ため池改修施設(変更なし)

該当なし

1. 貯水池

(第24表)

名称	位置				備考			
	形式	流域 (km ²)	堤高 (m)	堤長 (m)		堤頂幅 (m)	貯水量 (千m ³)	
堤体								
洪水吐	形式	洪水量 (m ³ /s)	規模 (m)	備考	取水施設	形式	取水量 (m ³ /s)	備考

2. 堤体補強施設

(1) 法面保護施設

(2) 漏水防止工

第6章 附帯工事計画(変更なし)

該当無し

第7章 工事着手及び完了の予定時期

着手 昭和50年度
完了 昭和52年度

第8章 環境との調和への配慮

既に使用されていた構造物、水路等をできる限り再利用し、工事により排出される産業廃棄物の発生を極力抑制した。

第9章 換地計画の概要

第1節 換地計画を作成する上での基本的な考え方〈変更なし〉

大区画ほ場における農家ごとの農用地集積を図る換地設計基準を定め、これに基づき換地計画を定める。また地目別集団化により、高度で合理的な営農を可能にし農業経営の安定及び地域農業の振興を図るものとする。

第2節 換地区の設定

1. 換地区の名称、所在、面積

(第25表-1)

換地区名	換地区の所在	面積 (ha)
岡田由里・西方寺	舞鶴市字岡田由里・西方寺	(5.1) 4.8ha

2. 換地区を設定する理由〈変更なし〉

該当なし

第3節 換地計画樹立の基本方針〈変更なし〉

1. 従前の土地の地積の基準

(第25表-2)

換地区名	地積の基準
岡田由里・西方寺	換地交付の基準とする従前の土地の地積は、土地改良事業計画認可の日の登記簿地積とする。ただし、上記の日から3カ月以内に測量士、測量士補又は土地家屋調査士の測量した実測図及び隣接所有者の同意書を添付して申出があった場合は、その申出のあった地積とする。

第4節 土地の評価及び清算の方法（変更なし）

1. 評価の方法
標準地比準方式
2. 清算の方法
増加額比例地積清算方式

第5節 換地計画樹立の年度計画

(第25表-6)

区分	一時利用地の指定	換地計画の決定	換地処分の	備考
換地区名	予定年度	予定年度	予定年度	
岡田由里・西方寺	—	令和8年度	令和8年度	

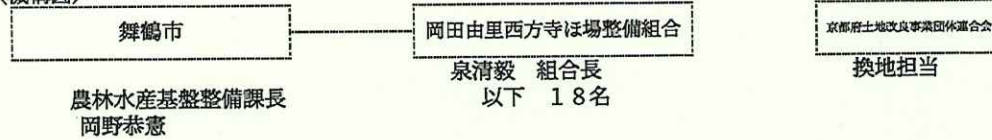
第6節 換地処分の時期に関する特別
該当事項なし

第7節 換地事務処理体制

換地区名	選定事務			処分事務			備考
	直営・委託の区分 及び項目	担当者	着手の時期	直営・委託の区分 及び項目	担当者（委託者）	完了の時期	
岡田由里・西方寺	直営 従前図調整 従前地再調査 換地設計基準確定 評価基準及び評価 工事後の土地評価 換地計画原案作成	舞鶴市 大機秀治（55-1士）	工事着手 昭和50年度 選定年度 昭和50年度	直営 換地計画書作成 換地計画決定 分筆登記 相続等代位登記 換地処分 換地処分登記	京都府土地改良事業団体連合会	工事完了年度 昭和52年度 処分年度 令和8年度	

機構図及び処理方針

〈機構図〉



〈処理方針〉

選定事務について、上記機構図のとおり対応する。処分事務については、舞鶴市が京都府土地改良事業団体連合会へ委託し実施する。

第10章 事業費の総額及び内訳

(第26表)

事業名			備考
区分		(千円)	
	純工事費	(15,250) 19,500	
	補償費		
	換地費		
	測量試験費		
	工事雑費	(300) 575	
	地方事務費	(150)	
	計	(15,700) 20,075	
関連事業 (参考)			
	計		

第11章 効 用

(第27表)

事業名	項 目 区分	年増加見込効果額 (千円)	摘要(旧効果)	
小規模 土地 改良 事業	作物生産効果	4,465	増加生産量 (米) 1,260kg	
	営農経費節減効果	4,393	省力人員 252人員	
	維持管理費節減効果	883		
	計	9,741		

第12章 関連する事業 (変更なし)

(第28表)

区分	事 業 名	事業主体	受益面積	事 業 内 容
	該当なし			

第13章 現況・計画図面

岡田由里・西方寺地区 計画平面図



凡	例
田	
畑	
非農用地	
筆界	
大字界	
小字界	
道路(改)	
水路(改)	
道路(市)	
水路(市)	
団地指標	

